

# 第41期 中間決算説明資料

自 平成18年4月 1 日  
至 平成18年9月30日



【会社名】 株式会社エノモト

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【コード番号】 6928

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 榎本 保雄

【問合せ先】 取締役経理部長 山崎 宏行

【E-Mail】 [ir@enomoto.co.jp](mailto:ir@enomoto.co.jp)

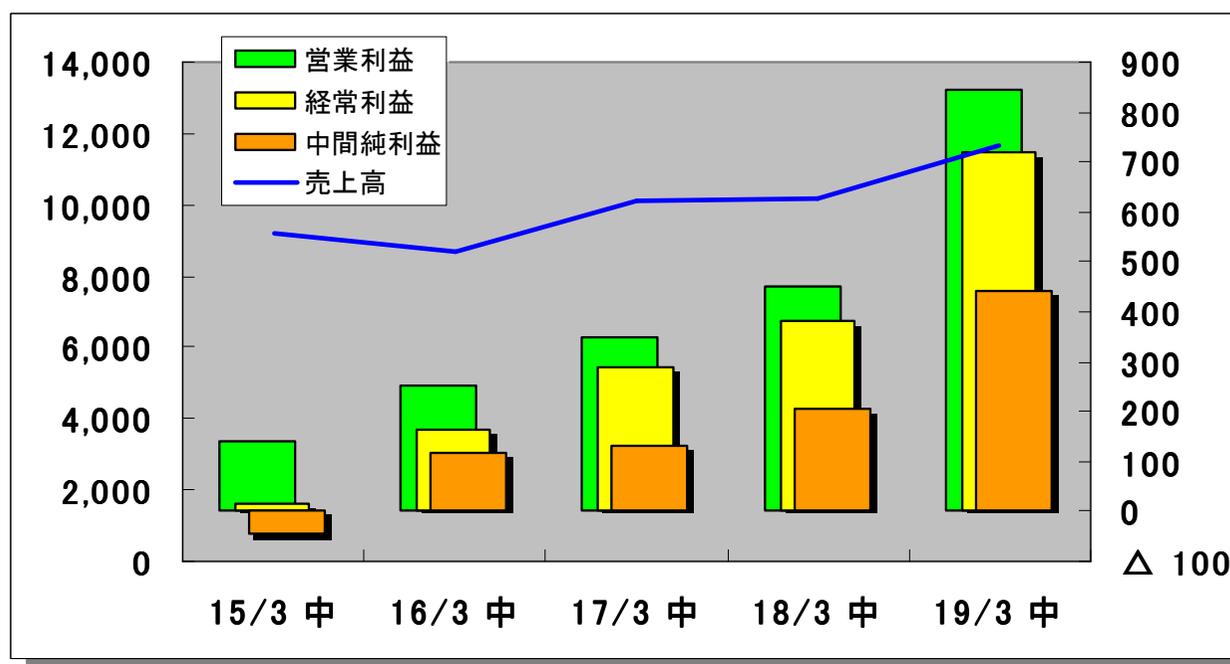
【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)



# 当中間期のご報告

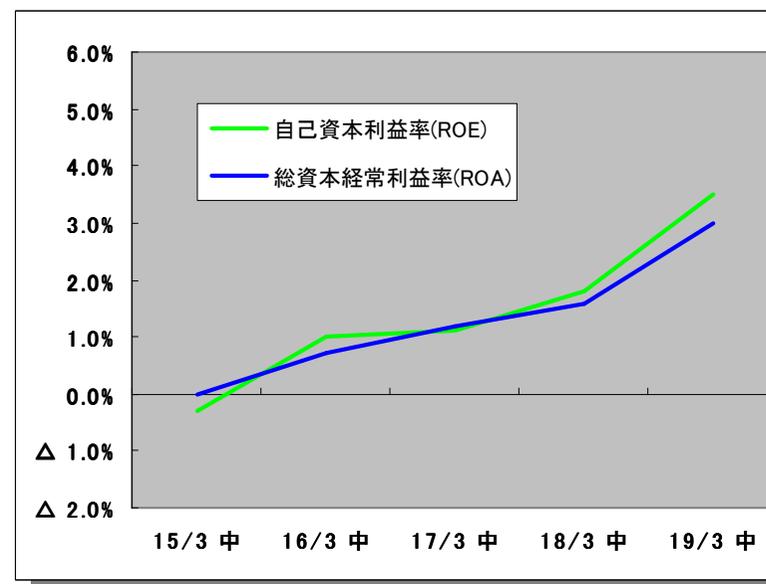
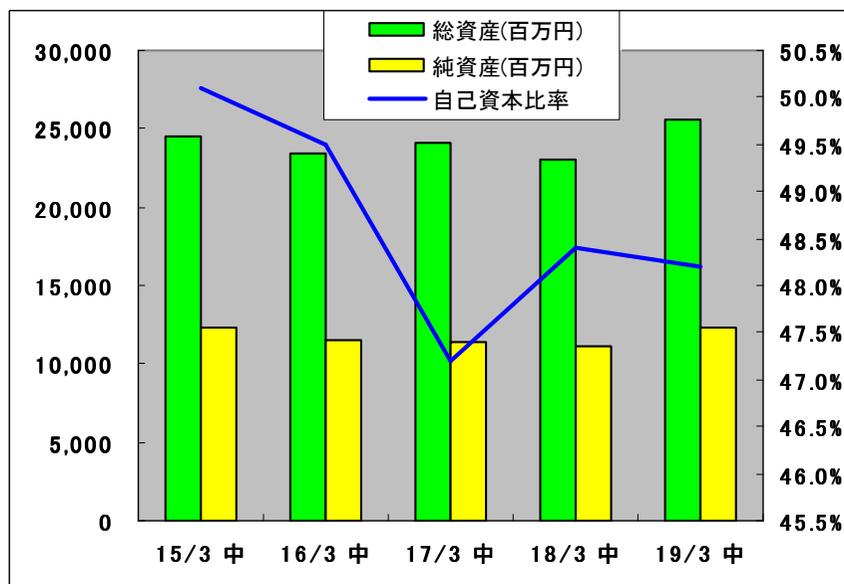
## ■ 連結業績の推移



百万円

	17/3 中	18/3 中	19/3 中	前期比	17/3	18/3
売上高	10,122	10,167	11,640	14.5%増	20,176	21,405
営業利益	348	452	845	86.7%増	600	1061
営業利益率	3.4%	4.5%	7.3%	2.8P増	3.0%	5.0%
経常利益	287	383	720	87.8%増	442	943
経常利益率	2.8%	3.8%	6.2%	2.4P増	2.2%	4.4%
中間(当期)純利益	133	206	442	113.9%増	182	581
中間(当期)純利益率	1.3%	2.0%	3.8%	1.7P増	0.9%	2.7%

## ■ 財政状態



百万円

	17/ 3 中	18/ 3 中	19/ 3 中	17/ 3	18/ 3
総資産(百万円)	24,067	22,991	25,646	22,340	24,572
純資産(百万円)	11,365	11,133	12,362	11,226	12,088
自己資本比率	47.2%	48.4%	48.2%	50.3%	49.2%
自己資本利益率(ROE)	1.1%	1.8%	3.5%	1.6%	4.9%
総資本経常利益率(ROA)	1.2%	1.6%	3.0%	1.9%	4.0%

当中間連結会計期間における世界経済は、中国を筆頭とするアジア経済におきましては、前期より引き続き高成長を持続しており、欧州経済におきましては、一部地域で減速が懸念されてはいるものの、外需及び企業部門を中心に景気の拡大を維持しております。景気牽引役である米国経済におきましてもインフレ、原油価格高騰、住宅ブームの沈静化など、懸念事項を抱えてはおりますが、個人消費や民間設備投資に支えられ、景気は緩やかに拡大し、全体としては、概ね堅調に推移いたしました。

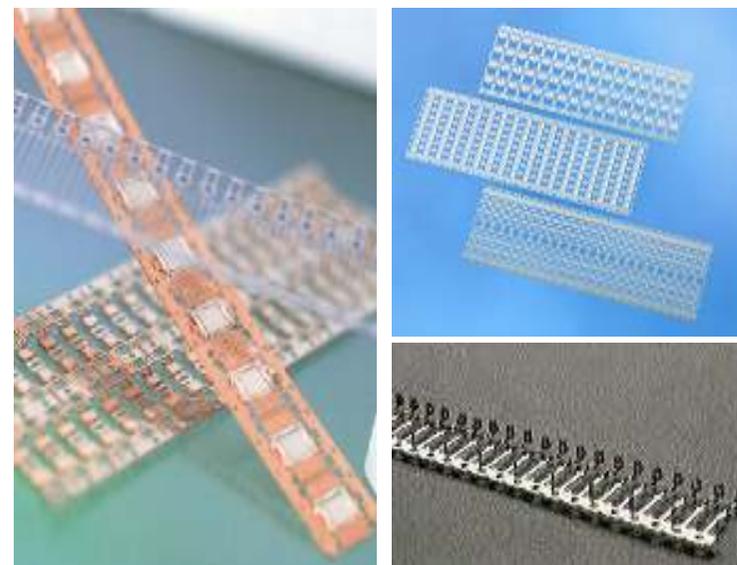
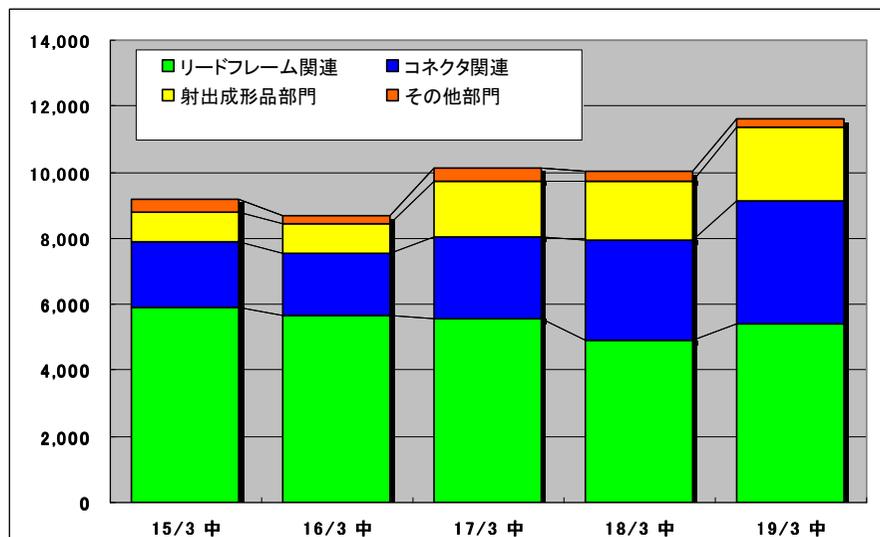
一方、国内経済におきましては、原油価格及び非鉄金属等の原材料価格の高止まりが続く中で、雇用環境の改善と所得の増加に伴う個人消費の増加、および企業業績の回復に伴う設備投資の増加等が牽引したことにより、景気は緩やかながら拡大基調で推移して参りました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、パソコン、携帯電話、LCD・PDP等の薄型テレビ、デジタルオーディオプレーヤー、車載向け機器等の需要拡大を背景に堅調に推移いたしました。

また、製品価格の下落、及び原材料価格の高止まりによる利益圧迫要因に対応する為、更なる生産性の向上と高付加価値製品の開発にも努めて参りました。

その結果、当中間連結会計年度の売上高は116億4千万円(前年同期比14.5%増)、経常利益7億2千万円(同87.8%増)、当期純利益4億4千2百万円(同113.9%増)となりました。

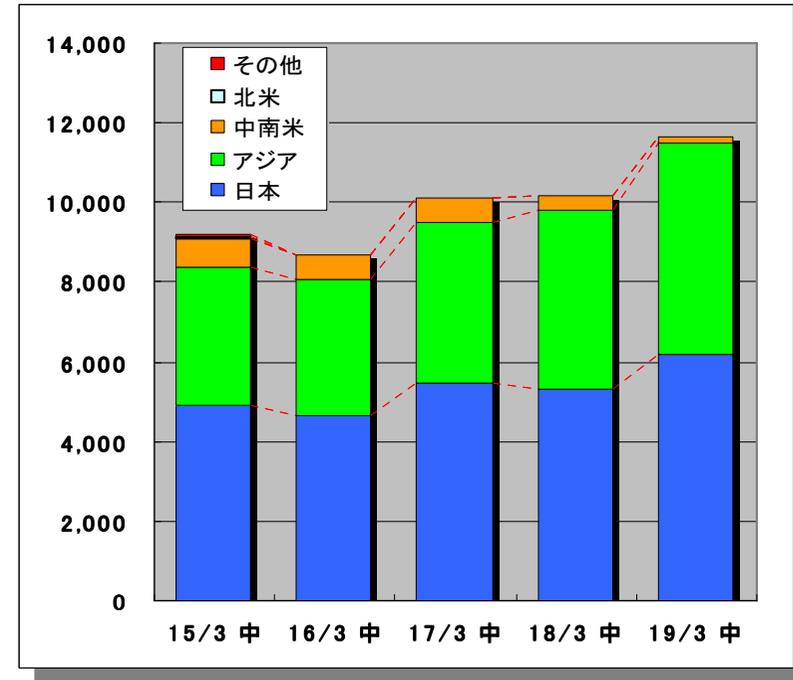
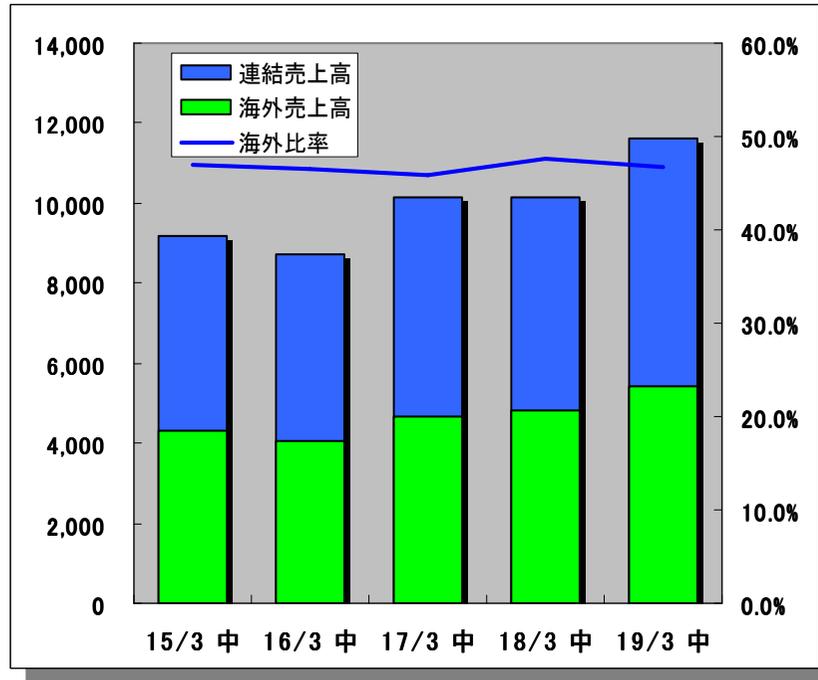
## ■部門別売上高



百万円

		17/ 3 中	18/ 3 中	19/ 3 中	前期比	17/3	18/3
金属プレス品 部 門	リードフレーム関連	5,558	4,942	5,392	9.3%増	11,029	10,006
	コネクタ関連	2,490	3,030	3,751	23.7%増	5,325	6,710
	計	8,048	7,960	9,143	14.8%増	16,354	16,717
射出成形品部門		1,688	1,747	2,244	28.4.%増	3,120	3,817
その他部門		385	459	251	45.1%減	700	870
		—	—	—	—	—	—
合 計		10,122	10,167	11,640	14.5%増	20,176	21,405

## ■地域別売上高



百万円

	17/3 中	18/3 中	19/3 中	17/3	18/3
連結売上高	10,122	10,167	11,640	20,176	21,405
海外売上高	4,653	4,841	5,452	9,868	10,091
海外比率	45.9%	47.6%	46.8%	48.9%	47.1%

	17/3 中	18/3 中	19/3 中	17/3	18/3
日本	5,469	5,326	6,187	10,307	11,314
アジア	4,054	4,475	5,322	8,687	9,581
中南米	576	347	127	1,128	469
北米	12	15	3	20	36
その他	9	3	0	32	3

① 金属プレス品部門

当部門は、半導体用リードフレーム及びコネクタ用部品が主なものであります。長年培ってまいりました微細加工技術や顧客ニーズに沿った最適地生産への対応等により、市場拡大が続くLED用部品及びコネクタ用部品の受注拡大に努めて参りました。その結果、半導体用リードフレームの売上高は53億9千2百万円(前年同期比9.3%増)、コネクタ用部品の売上高は37億5千1百万円(同23.7%増)となり、合計で売上高は91億4千3百万円(同14.8%増)となりました。

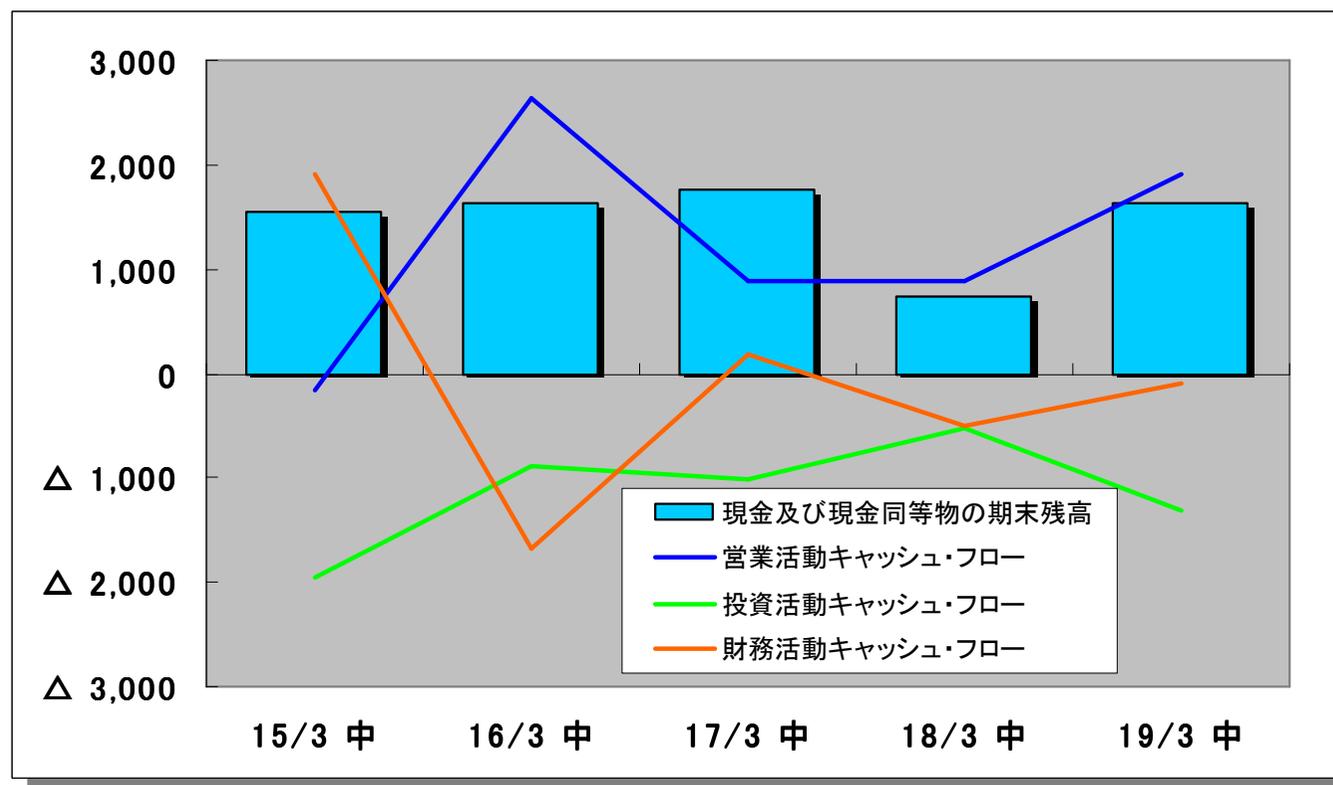
② 射出成形品部門

当部門は、LED用部品及びコネクタ用部品が主なものであります、特にコネクタ用部品のIT機器向け、携帯電話向けマイクロピッチコネクタの需要が堅調に推移しております。LED用部品におきましては、車載向け、遊戯向け等を中心に底堅い需要を背景に増加基調で推移しております。この部門の売上高は22億4千4百万円(同28.4%増)となりました。

③ その他部門

当部門は、機械要素品と医療器具に大別されます。機械要素品としては当社の開発品であるガイドマックス、医療器具としては血液検査用の採血キットが主なものであります。平成5年5月より当社オリジナル商品として製造販売して参りましたが、中長期的経営戦略に基づき、本年6月をもって事業から撤退をいたしました。その結果、この部門の売上高は2億5千1百万円(同45.1%減)となりました。

# ■ キャッシュ・フロー



百万円

	17/3 中	18/3 中	19/3 中	前期比	17/ 3	18/ 3
営業活動によるキャッシュ・フロー	877	880	1,919	1,039	1,207	2,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,009	△518	△1,305	△787	△1,114	△1,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	187	△510	△88	422	△899	△835
現金及び現金同等物の期末残高	1,753	744	1,638	893	872	1,132

当中間連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加し、当中間連結会計期間末には16億3千8百万円となりました。

○営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は19億1千9百万円(前年同期比118.1%増)となりました。これは税金等調整前中間純利益6億6千2百万円、減価償却費8億3千5百万円に加え仕入債務の増加5億7千8百万円等による資金の増加、売上債権の増加2億9千3百万円及びたな卸資産の増加3億2百万円等の資金の減少によるものであります。

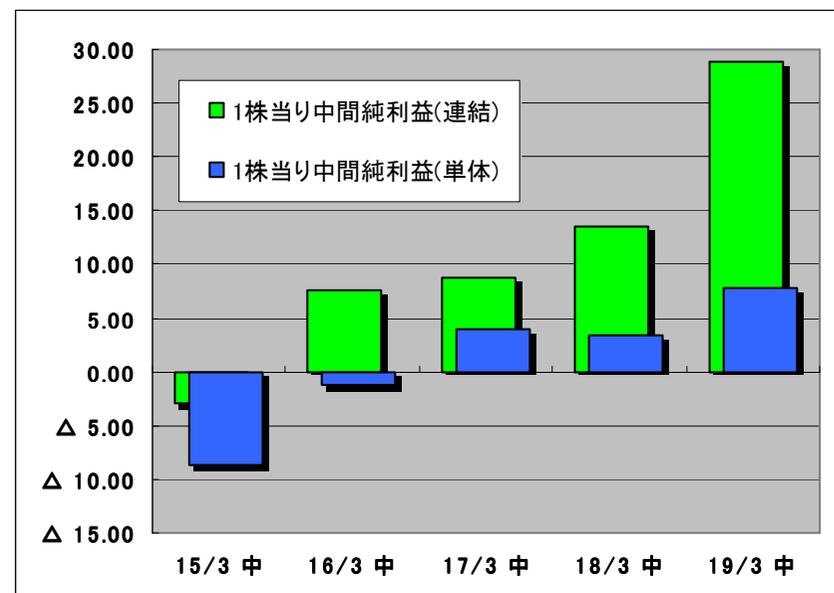
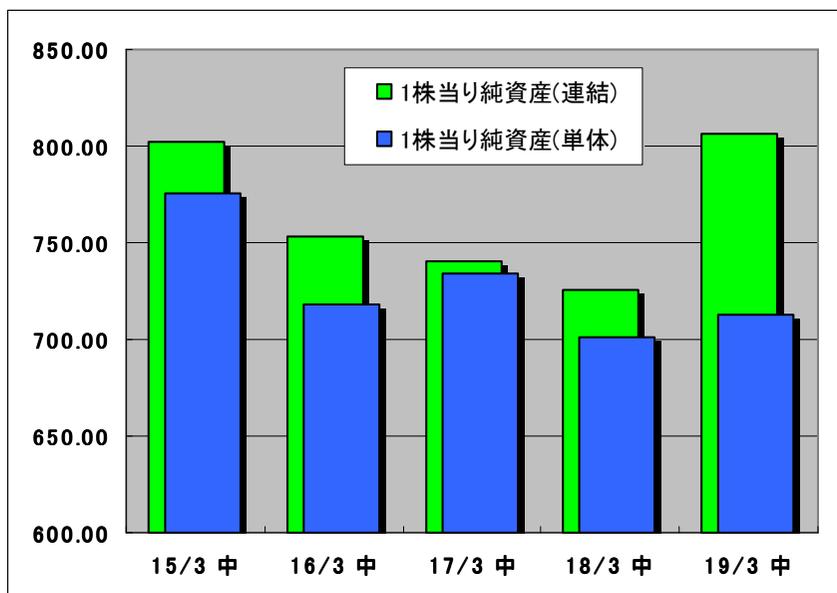
○投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は13億5百万円(同151.6%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

○財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は8千8百万円(同82.7%減)となりました。これは主に長期借入金の増加5億円、長期借入金の返済4億7千5百万円及び配当金の支払7千6百万円によるものであります。

## ■ 1株当り指数



	17/3 中	18/3 中	19/3 中	17/3	18/3
1株当り純資産(連結)	740.82	725.77	805.93	731.81	788.07
1株当り純資産(単体)	734.57	701.33	712.50	732.77	711.52
1株当り中間(当期)純利益(連結)	8.69	13.48	28.86	11.92	37.90
1株当り中間(当期)純利益(単体)	4.05	3.34	7.71	5.21	13.32

円

## ○利益配分に関する基本方針

株主の皆様への利益配当金について、当社は株主に対する利益還元を経営の最重要政策と位置づけており、電子部品業界における技術革新に対応するためタイムリーな製品開発に努め、国内はもとより海外生産拠点を拡充することにより、経営基盤の強化を図るとともに、配当につきましても安定した配当の継続を重視し、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、連結業績での配当性向を考慮いたしまして、中間配当金を期初予想の5円から6円とさせていただきます。

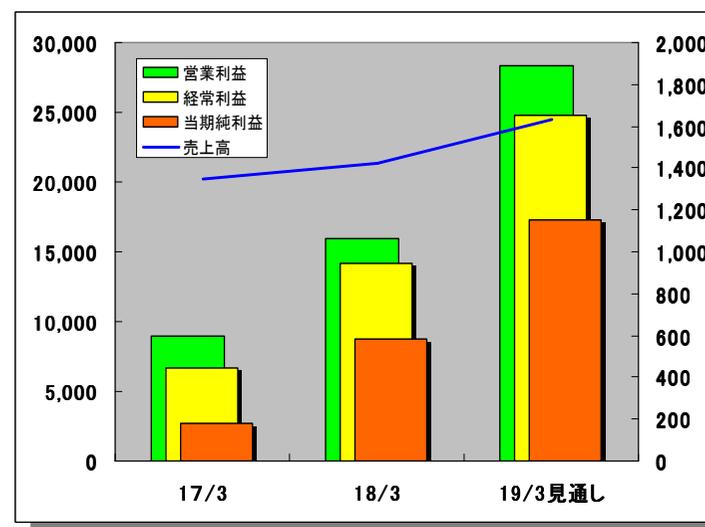
次期の見通し

## ■ 通期業績予想

### ● 連結

百万円

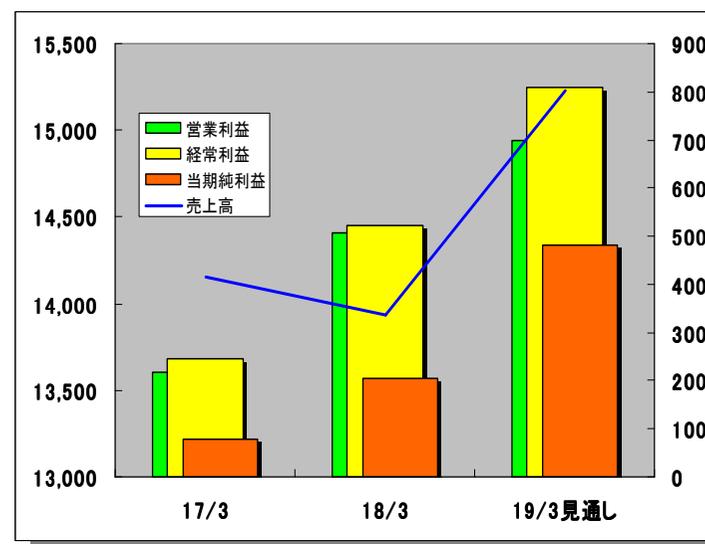
	18/3	19/3 見通し	前期比
売上高	21,405	24,450	14.2%増
営業利益	1061	1,880	77.2%増
営業利益率	5.0%	7.7%	2.7P増
経常利益	943	1,650	74.8%増
経常利益率	4.4%	6.7%	2.3P増
当期純利益	581	1,150	97.8%増
当期純利益率	2.7%	4.7%	2P増



### ● 単体

百万円

	18/3	19/3 見通し	前期比
売上高	13,931	15,230	9.3%増
営業利益	507	710	40.0%増
営業利益率	3.6%	4.7%	1P増
経常利益	523	810	54.8%増
経常利益率	3.8%	5.3%	1.6P増
当期純利益	204	480	134.8%増
当期純利益率	1.5%	3.2%	1.7P増



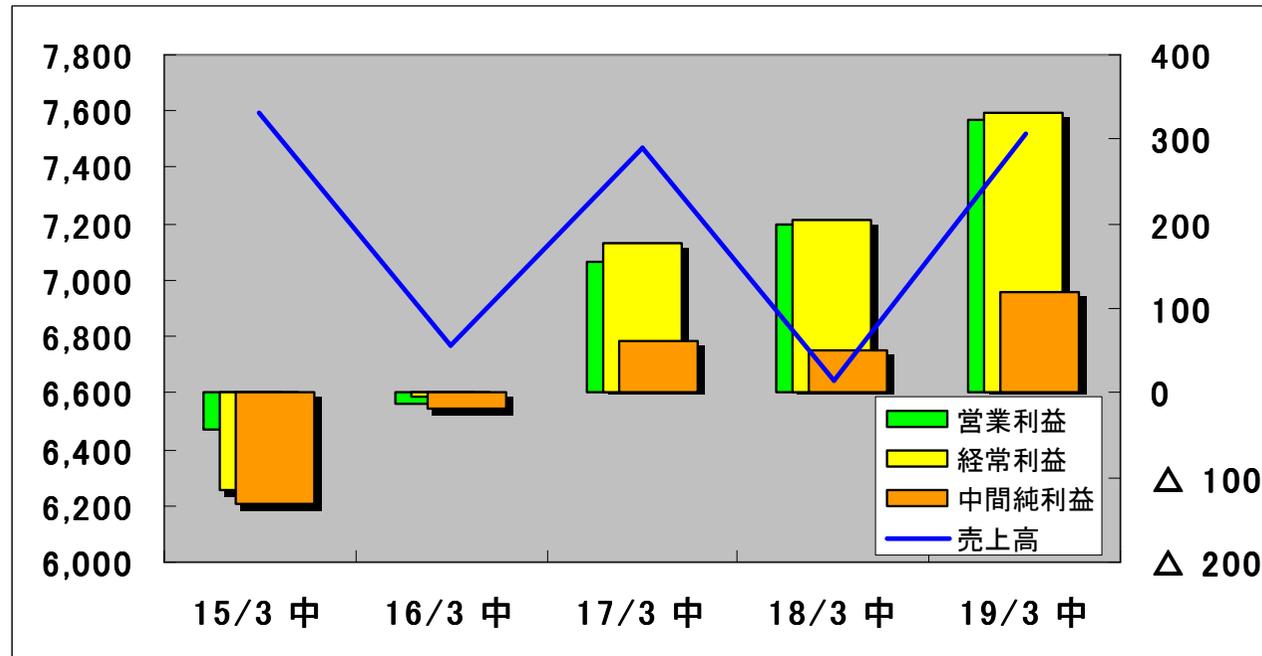
今後の見通しにつきましては、国内の個人消費と設備投資が好循環のサイクルに入りつつあり、米国を中心とする国外需要の鈍化やIT関連業種の在庫調整などによりやや減速感を持ちつつも、好循環に入った内需を中心に堅調に景気拡大が持続していくものと思われます。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、競争激化による製品価格の値下圧力や原材料価格の高止まり等の厳しい状況が継続しておりますが、携帯電話やパソコンの需要が新興国市場において拡大を続けている事に加え、内需におきましても携帯情報端末等のIT機器及び薄型テレビ等のデジタル家電を中心に景気拡大に支えられた需要が持続しており、供給過剰懸念はあるものの今後も堅調に拡大をしていくものと思われます。

通期の連結業績予想といたしましては、価格競争激化による収益力の低下、及び市場における流通在庫等の調整局面等の様々なリスクが想像されますが、当社グループの関連する電子部品業界は引き続き堅調に推移するものと見込まれることから、売上高は244億5千万円(前年同期比14.2%増)、経常利益は16億5千万円(同74.8%増)、当期純利益は11億5千万円(同97.8%増)を見込んでおります。

補足資料

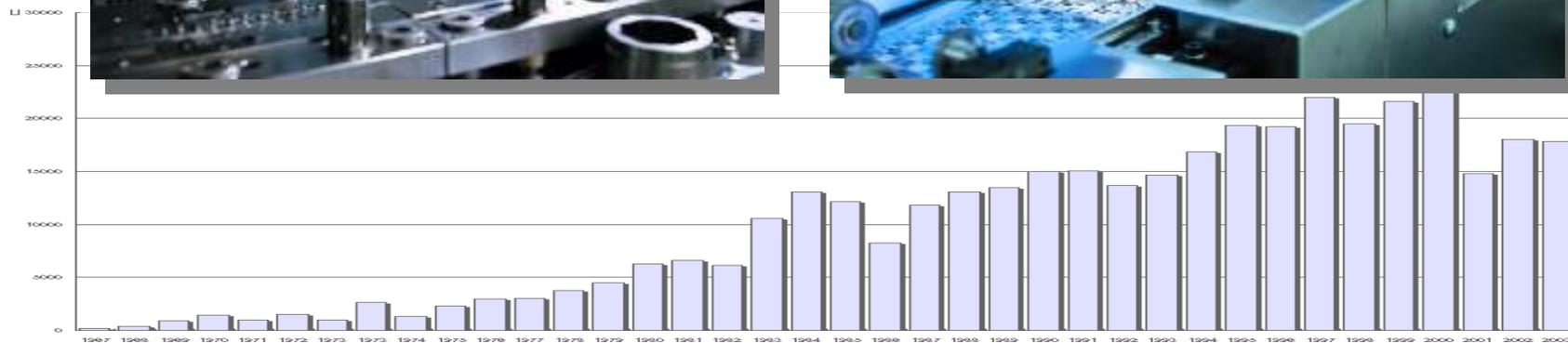
## ■単体の業績推移



百万円

	17/3 中	18/3 中	19/3 中	前期比	17/ 3	18/ 3
売上高	7,467	6,644	7,519	13.2%増	14,152	13,931
営業利益	154	198	323	63.2%増	218	507
営業利益率	2.1%	3.0%	4.3%	1.3P増	1.5%	3.6%
経常利益	177	205	332	62.2%増	244	523
経常利益率	2.4%	3.1%	4.4%	1.3P増	1.7%	3.8%
中間(当期)純利益	62	51	118	130.7%増	80	204
中間(当期)純利益率	0.8%	0.8%	1.6%	0.8P増	0.6%	1.5%

当社グループは市場と顧客の情報を迅速かつ的確に把握し、顧客ニーズに対し付加価値の高い製品や情報の提供に努め、相互に利益を享受することを通じて、信頼関係を深め、将来にわたり安定的な成長と収益基盤の確立を目指しております。



## ①グローバル供給体制の確立

近年、電子部品業界は製品の適地生産・適地供給が強く求められており、そのニーズに対応するため、品質やサービスのレベルを向上させながら、調達・生産・販売の最適化を図るべく、グループ全体での分業・供給体制の強化を進めて参ります。

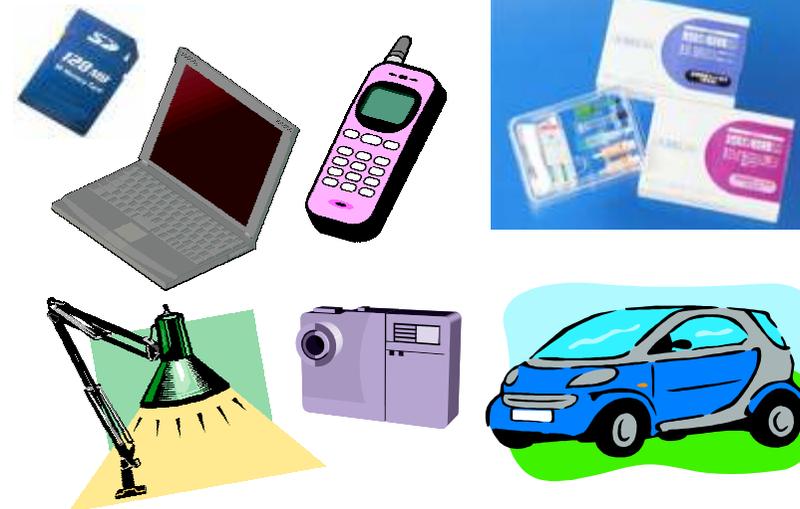


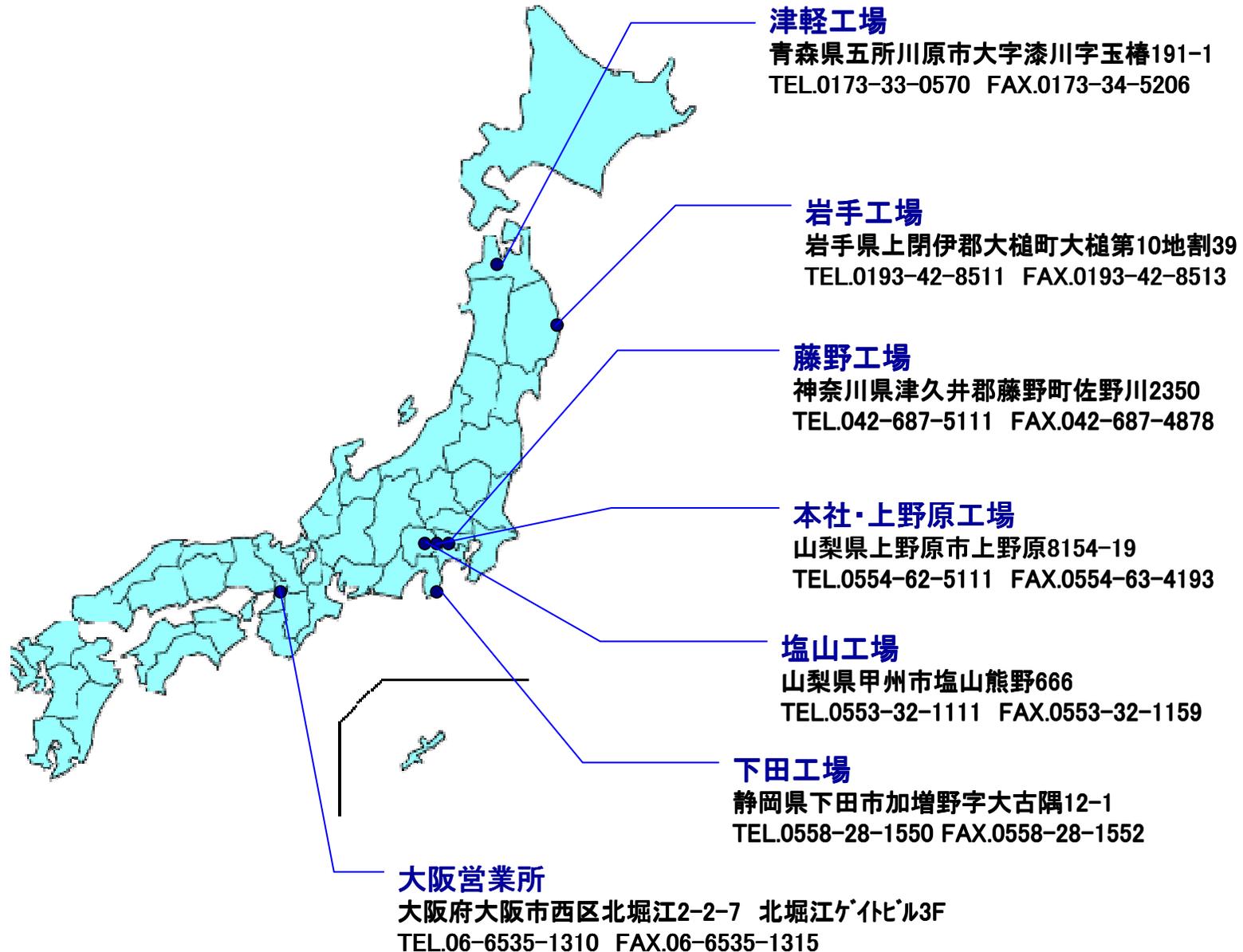
## ②事業基盤の確立

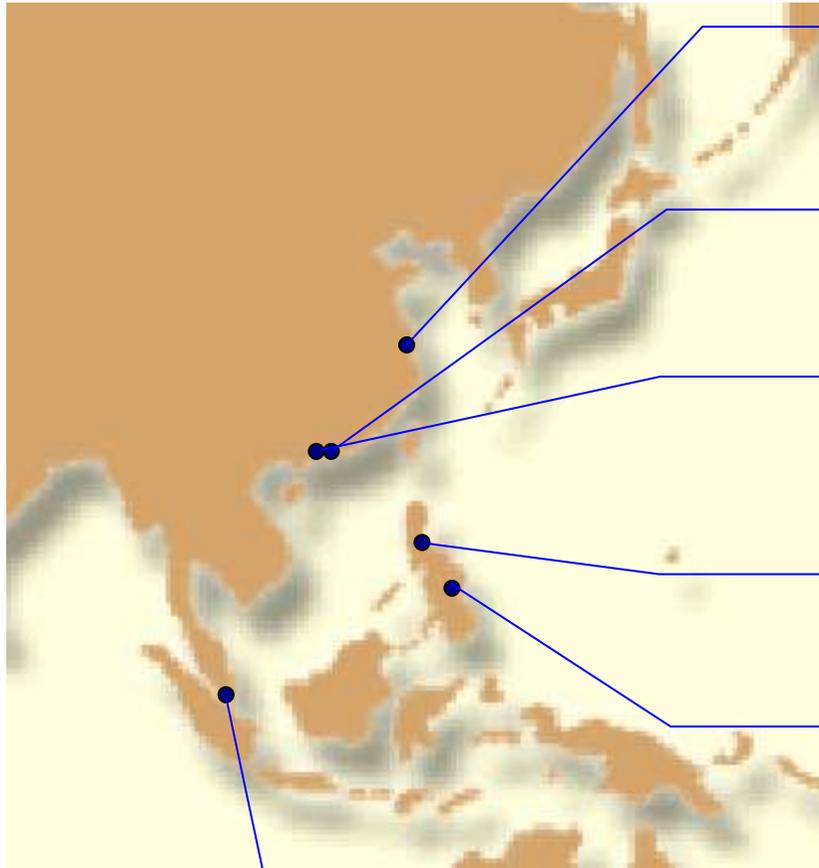
国際競争が激化に伴い製品価格の低下が続く中、当社は高付加価値品への転換を図るべく、営業力、技術力の強化を図って参ります。

現在、培ってきた微細加工技術・インサートモールド技術を基に、次世代の光源として注目をあびているLED、電子機器の小型化に伴い需要の高まっている狭ピッチコネクタへの積極的展開を進めております。

また、新規分野として、医療関連製品への取り組みも進めており、今後拡大を図って参ります。







**ENOMOTO WUXI Co.,Ltd.**

江蘇省無錫市無錫国家高新技術産業開發区96号-C  
TEL.+86-510-5345222 FAX.+86-510-5344008

**ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**

香港九龍梳士巴利道3号星光行1820室  
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

**ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**

広東省中山市火炬開發区逸仙工業区  
TEL.+86-760-533-5111 FAX.+86-760-533-5113

**ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**

PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philippine.  
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

**ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING INC.  
CEBU OPERATIONS**

Cebu Light Industrial Park, Special Economic Zone, Washington  
Road, Basak, Lapu-Lapu City, Cebu, Philippines 6015  
TEL.+63-32-341-2223 FAX.+63-32-341-2228

**ENOMOTO PRECISION ENGINEERING(S)Pte.Ltd.**

30Loyang Drive,Singapore 508945  
TEL.+65-6542-4542 FAX.+65-6542-2484

## 注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。